

平安神宮の庭園を巡る

平安神宮の神苑は広さ 30,000 平方メートルに及び、幅広い動植物の住処となっています。これらの美しい庭園は、広い池や曲がりくねった小川、歴史的建造物を特徴としています。神苑は一般に公開されており、約 40 分ほどで回ることができます。入り口は白虎楼近くの門です。

それぞれの庭園は、平安時代（794～1185）、鎌倉時代（1185～1333）、桃山時代（1568～1603）そして江戸時代（1603～1867）の四つの異なる時代に着想を得ています。桜や、アイリス、ツツジ、睡蓮や、松、楓などを含む数百種類に及ぶ植物が、一年を通して色づくよう設計され庭園に植えられています。

敷地内に設置されている看板には、庭園とその特徴に関する情報が英語で記載されており、京都および日本の詳しい歴史を紹介しています。